

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	国際教養学科			
科目名称	時事英語						授業形態	演習		
科目コード	590146	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	水島 孝司							ICT活用		
授業概要	本授業の目的は、受講生がめまぐるしく変化する世界の現状を理解するために、ニュースを教材として、読解スキルを高めるのを支援することである。記事を利用したリスニングとシャドーイングに取り組むことを通じて、読解精度を上げ、英語運用能力試験、大学編入学試験などにも対応できる英語力を養成する。読解スキル向上のためには、語彙や文法の知識を強化する必要もあるので、これらの面についての丁寧な解説も行う。									
関連する科目	英語読解（旅行・エアライン）									
授業の方法と進め方	・ 授業は教科書に沿って進めるので、事前に該当のユニットを予習しておくこと。 ・ 原則として、2回の授業で1つのユニットをこなす。 ・ 1つのユニットが終わるごとに小テストを実施する。 ・ 授業のはじめには、For Shadowingの箇所の英語をペアまたはグループでシャドーイングして、毎回、自己評価してもらう。 ・ 学生を指名しながらニュースを読んでいくので、予習をしっかりと行うこと。（指名されてから、辞書を引くことのないように）									
第1回	オリエンテーション（授業の進め方、評価方法、教科書に関する説明）									
第2回	Learning how to ask questions									
第3回	Learning how to ask questions（続き）									
第4回	Oceans to hold more plastic than fish by 2050									
第5回	Oceans to hold more plastic than fish by 2050（続き）									
第6回	Is your plan sustainable?									
第7回	Is your plan sustainable?（続き）									
第8回	Artificial intelligence：helpful and dangerous									
第9回	Artificial intelligence：helpful and dangerous（続き）									
第10回	Social media is keeping young adults awake									
第11回	Social media is keeping young adults awake（続き）									
第12回	How well is English spoken worldwide?									
第13回	How well is English spoken worldwide?（続き）									
第14回	Rich people even have better stress than poor									
第15回	Rich people even have better stress than poor（続き）、まとめ									
授業の達成目標	・ ニュースを理解するために必要な語彙力を身につける 【汎用的技能】 ・ ニュースの英語を聞き取る能力を身につける 【汎用的技能】 ・ ニュースの英語を使ってシャドーイングできる 【汎用的技能】 ・ ニュースの内容を正確に理解できる 【汎用的技能】									
学修成果との関連	2.自分の言葉で表現できる能力を有する。／3.現代社会に関する基本的知識を有する。									
授業時間外学習【予習】	・ 【各ユニット1回目】 Key words and phrases, For Shadowing, Listening Comprehension, Fill-in-the-blank Quiz（ニュースの前半）の予習。For ShadowingとFill-in-the-blank QuizはVOAのオリジナル音声を使用する。（60分程度） ・ 【各ユニット2回目】 For Shadowing, Fill-in-the-blank Quiz（ニュースの後半）、Vocabulary, Reading Comprehensionの予習。For Shadowing,とFill-in-the-blank QuizはVOAのオリジナル音声を使用する。（60分程度）									
授業時間外学【復習】	・ 内容を理解したニュースを吹き替え音声（ナチュラルスピード）を聞いて確認する。（10分程度） ・ 内容を理解したニュースを意味の単位で音読する。（10分程度） ・ 語彙、文法に関するプリントに解答する。（15分程度）									

課題に対するフィードバック	学生の発表内容（英語音読、訳出した日本語など）に対してコメントする。
評価方法・基準	小テスト(40点)、シャドーイングの取り組み(15点)、指名された箇所の発表を含む授業参加・貢献度(45点)
テキスト	『VOAラーニングイングリッシュで世界を読む』（倉本充子ほか著、2018年、三修社）
参考書	・英英辞典（Longman Dictionary of Contemporary Englishなど）の使用を勧める。その他、随時、授業で紹介する。
備考	・英検準２級合格以上の英語力を有していることが受講条件。 ・授業前の予習と授業後の復習を徹底すること。それによって英語力を効果的に伸ばすことができる。 ・毎回、英和辞典を持参すること（紙、電子辞書どちらでもよい。教室に備え付けの辞書を使用するのもよい） ・英語を学ぶことで得られる喜びの１つは、辞書の助けを借りながらも、英語ニュースの内容を理解できるようになることです。一緒に頑張って、この喜びを共有しよう。